

臨床研究

難治性疼痛に対する脳神経外科的治療の手術成績の検討

1. 研究の対象

当院で難治性疼痛に対して大脳運動野電気刺激療法、脊髄刺激療法、脊髄後根進入帯破壊術を受けた患者さんです。

2. 研究目的・方法

この研究では、難治性疼痛に対する大脳運動野電気刺激療法、脊髄刺激療法、脊髄後根進入帯破壊術の治療成績を検討します。患者さんのカルテなど診療情報より、患者さんの背景因子（年齢や病状など）と治療成績などの情報を収集します。収集した情報をもとに、各治療法の治療成績を集計し、患者背景と治療成績の関係、各治療法の差異などを検討します。このような検討を行うことで、今後の患者選択や治療適応などの参考となり、難治性疼痛の各治療法の病態理解が深まり、治療成績が向上することを期待しています。

3. 研究に用いる情報の種類

過去に行われた手術の内容と治療成績（痛みの状態など）、患者さんの年齢や性別、痛みの部位などの患者さんの背景因子などの情報を用います。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究

計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立大学法人 大阪大学医学部附属病院 脳神経外科

細見 晃一

住所：大阪府吹田市山田丘 2-15

電話番号：06-6879-5645（外来）

研究責任者：

国立大学法人 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経外科学

細見 晃一